

任天堂株式会社

現代奴隷に関するステートメント

本書は、2022年度（2023年3月期）の任天堂（任天堂（日本）およびその主要な子会社）の事業およびサプライチェーンにおける現代奴隷（奴隷労働、強制労働、児童労働、囚人労働、人身取引など）を防止するための方針や取り組みについてまとめています。

任天堂は、日本（京都）に拠点を置く娯楽商品の開発・製造・販売を行う企業です。任天堂は、ゲーム専用機や周辺機器などの主要製品について、自社で生産工場を持たない「ファブレス型」の生産体制をとっています。そのため、任天堂は現代奴隷を防止する方針やガイドラインを確立し、遵守するよう世界中の子会社や生産パートナーと一緒に協力しています。

1. 任天堂の事業概要

任天堂は、「任天堂に関わるすべての人を笑顔にする」を目標とするグローバル企業として、社会的責任を果たし法令を遵守した事業活動を行うことがお客様の信頼につながるものと考えます。

1-1 方針

任天堂では、国連の「国際人権章典」および「ビジネスと人権に関する指導原則」ならびに国際労働機関（ILO）の「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」といった人権に関する国際規範や国際基準を支持し、それらをもとに、「任天堂人権方針」を定めています。この方針は、社内の関係部門だけではなく、社外の専門家からもアドバイスを聞き作成しています。任天堂が雇用している人を対象とし、任天堂の経営ビジョン、行動規範に基づいて、人権を尊重した取り組みを行うことを表明し、サプライチェーンにおいても社会的責任のある行動を実施するように取引先へ継続的に働きかけを行っています。

また、この方針を確実に遂行するために、事業運営において現代奴隷を防止するために地域の事情に合わせた行動規範を定めています。

任天堂（日本）は、これまで大切に受け継いできた「任天堂DNA」と「行動規範」の双方に基づき編集した「社員心得」を全社員に配付しています。「社員心得」は、すべての人々の人権を尊重することが重要であることを強調し、担当業務の遂行において社員に期待する高い基準を指針にしています。任天堂（日本）は、これらの価値を大切にし、人権課題に対して適切に、かつ、十分に理解して熱心に取り組み、あらゆる人権侵害を回避できるよう努力しています。

子会社においてもそれぞれの国や地域における文化や法令に合わせながら、任天

堂が期待する普遍的な行動基準を推進・保護する行動規範を定め、遵守を徹底しています。

1-2 体制、責任

任天堂(日本)では、人事部長が日本国内の社員に対して法令や「社員心得」、人権についての社員研修の受講機会を設け、それらの遵守を確かなものにしていきます。また、それぞれの子会社においても法令や行動規範の遵守を確かにするために責任のある人や部署を選任し、社員への研修を行っています。

1-3 デューデリジェンス

任天堂では、社員の雇用に際し、現代奴隷が発生するリスクを減らすために以下の対策を取っています。

- すべての社員と書面での雇用契約を結びます。
- 派遣社員の採用においては信頼できる人材派遣会社を利用します。
- 各人材派遣会社から派遣社員を受け入れる前に、最低賃金を含む雇用契約の内容の提出を求めています。
- 人材派遣会社との契約を定期的に見直し、各人材派遣会社に関係法令遵守状況の確認を求めています。
- 法令違反またはその恐れのある不正な行為（「社員心得」や行動規範に対する違反を含む）を通報できる制度を設けています。

1-4 研修

任天堂では、社員へ人権に関する項目の周知を行うために、以下の研修を行っています。

任天堂人権方針は各国のコンプライアンス・マニュアルや、行動規範にも記載し、社員へ周知しています。任天堂（日本）では新入社員に対する研修にて内容を紹介しています。海外子会社においてもそれぞれ研修を行っており、例えば、米国任天堂では社員が毎年行動規範に関するトレーニングを受けています。また、サプライチェーンや取引先とやり取りをする社員に向けて人権に関する教育を継続的に行っています。欧州任天堂は、すべての新入社員に対して、人権の尊重、英国現代奴隷法に関する法令遵守、差別の禁止や平等な待遇を項目として含んだ行動規範に関しての研修を行っています。これらの内容について復習する機会として、すべての欧州任天堂社員に向けた研修も定期的に行っています。任天堂オーストラリアでは、調達活動に関わるすべての社員に対して豪州現代奴隷法に関する研修を継続的に行っています。

2. 任天堂のサプライチェーン

法令を遵守し、責任ある製造を行うという任天堂のコミットメントは、サプライチェーン全体に適用されます。調達、製造、労務管理において、奴隷労働、強制労働、児童労働、囚人労働、人身取引の防止に関する方針やガイドラインの遵守を生産パートナーに要求しています。

2-1 方針

任天堂は、購買基本方針に基づき、購買に関わるすべての活動において法令・社会規範を遵守し、人権や地球環境への配慮を進めるため、取引先に対しても、任天堂の方針への理解・協力を求めることとし、任天堂 CSR 調達ガイドラインを定めて CSR 調達活動を推進しています。「任天堂 CSR 調達ガイドライン」（日本語版・英語版・中国語版）は、生産パートナーとの相互理解の深化と信頼関係構築に主眼を置き、サプライチェーン全体で社会的責任をより確実に果たしていくために、調達活動の責任本部が作成しています。このガイドラインは、外部専門家からのアドバイスを受けながら RBA（Responsible Business Alliance）の基準を取り入れ、人権、持続可能性、倫理的調達などの課題に関連した強制労働の禁止、労働者の人権尊重や、労働安全衛生などについて、国際的な関連法令や基準に基づいた具体的な指針を示しています。人権の尊重を最初の項目として盛り込んでおり重要視しています。また、サプライチェーン全体において、強制労働や児童労働、囚人労働、奴隷労働、人身取引などを禁止しています。強制労働などの事実を発見した場合には改善を求め、改善されなければ製造または取引を停止する方針です。

2-2 デューデリジェンス

任天堂(日本)は、生産パートナーにおける CSR の推進状況を把握するため、すべての一次取引先に年に一度、経営状況などとあわせて CSR の取り組み状況を「取引先実態調査表」にて報告するよう要請しており、すべての一次取引先から回答をいただいています。「取引先実態調査表」では、任天堂の CSR 調達ガイドラインもしくは同等の基準を適切に生産パートナーに共有し、労働者に周知できているか確認しています。また、生産パートナーの各工場における CSR の推進状況を把握するため、「工場実態調査表」にて工場レベルでの CSR の取り組み状況の報告をお願いしています。「工場実態調査表」では、強制労働や児童労働・差別が発生しないよう管理・確認しているかという人権に関する事項のほか、労働時間や賃金、妊産婦労働者や若年労働者の保護を含む安全衛生などについて、また、労働者が苦情を申し立てるための内部通報の仕組みについても確認しています。

任天堂の調達部門は、「取引先実態調査表」「工場実態調査表」の回答内容や取

引の重要性、環境の変化などを考慮し選定した生産パートナーに対して「CSR工場確認」を実施しています。CSR工場確認においては、人権の尊重、労働契約、差別や児童労働および強制労働の禁止、法定賃金の遵守、労働時間の管理、職場の安全衛生、またそれらの労働者への周知状況などについて関係資料の閲覧や生産現場や寮の状況をサンプリングにより確認し、生産現場の実情や改善状況の把握に努めています。CSR工場確認は、実情把握にとどまらず、任天堂CSR調達ガイドラインの理解を深めていただくことや、生産パートナーのCSR活動に関する考え方を直接対話することによって相互理解を深める貴重な機会でもあります。新型コロナウイルスの感染拡大後は、これまで行ってきた現地工場への訪問ができない状況が発生したことから生産パートナーとの間でリモート会議の頻度を増やす等、コミュニケーションの取り方を工夫しながら、CSR活動の状況把握に努めてきました。2021年度には、これまでのCSR工場確認での確認内容を反映した「CSR工場確認質問表」による状況確認を一部の生産パートナーに対して書面で実施し、回答いただいた内容に基づいて後日リモート会議による確認を実施しました。リモート会議では、健康・人権に対する配慮、労働安全衛生への配慮、授乳室・搾乳室など妊産婦への配慮、内部通報（ホットライン）の仕組み、避難訓練の実態状況、健康診断の頻度、廃棄に関する環境およびセキュリティ施策などについて確認しました。2022年度からは「CSR工場確認質問表」とリモート会議をその手順として正式に組み込んだCSR工場確認を実施しています。なお、2022年度分においてはCSR工場確認の対象となった生産パートナーの一部に対して、さらに現地訪問による確認を実施しました。

上記のCSR工場確認に加え、第三者監査を行っており、CSR調達のさらなる透明性の向上に注力しています。「任天堂CSR調達ガイドライン」における人権および労務管理に重点をおき、これまでのCSR工場確認や過去の第三者監査の結果、取引状況等をもとに選定した主要生産パートナーを訪問しています。第三者監査では、管理者および生産現場で働く労働者への母国語でのインタビュー、関係資料の閲覧、生産現場や寮の視察を行い、人権の尊重、労働契約、差別や児童労働および強制労働の禁止、法定賃金の遵守、労働時間の管理、職場の安全衛生などについてサンプリングにより確認しています。2020年度分および2021年度分の監査は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮してリモートにて実施しました。2022年度分は、現地での監査を実施しました。

CSR工場確認や第三者監査にて把握したリスクを生産パートナーと共有し、必要な事項については是正を依頼しています。また、是正処置を行うために生産パートナーと協力し、是正された内容は現地に赴いて確認しています。

任天堂のグローバルでのCSRコミットメント

任天堂の社会的責任への取り組みは、製造やサプライチェーンの範囲以外にも及んでいます。CSR取り組みの詳細については、任天堂ホームページにある「CSR情報」をご覧ください。

<https://www.nintendo.co.jp/csr/index.html>

本書は、2023年9月28日に開催された任天堂(日本)の取締役会において承認されました。

発行：2023年9月28日

任天堂株式会社
代表取締役社長
古川俊太郎